



DNAマーカー育種で開発された水稲品種

水稲品種コシヒカリの

極早生同質遺伝子系統「コシヒカリ関東HD1号」

Rice cultivar "Koshihikari KantoHD1", Isogenic Line of Koshihikari with Earlier Maturity

作物研究所はDNAマーカー選抜技術を使って様々な成熟期のコシヒカリの同質遺伝子系統の開発を進めています。その第一号として、極早生のコシヒカリ同質遺伝子系統品種「コシヒカリ関東HD1号」を開発しました。

DNAマーカー育種は染色体上の特定のDNA塩基配列を目印（マーカー）にして育種材料の選抜を進める育種方法です。

コシヒカリ関東HD1号の育成経過

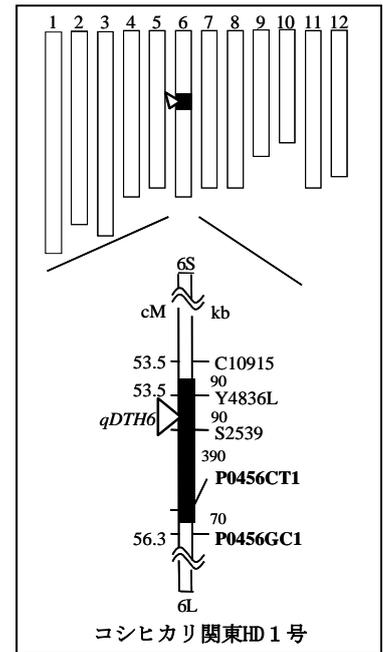
インド型品種Kasalathの出穂性QTL「*qDTH6*」 (*Hd1*) をDNAマーカー選抜によりコシヒカリに取り入れました。コシヒカリ関東HD1号の遺伝子の約99.9%がコシヒカリと同じと推定されます。

コシヒカリ関東HD1号の特性

- 関東ではコシヒカリより12日早生です。
- コシヒカリと比べて、玄米品質は同等ですが、短稈・少収で食味・耐冷性がコシヒカリより劣ります。
- 西南暖地ではコシヒカリより2～7日早生で、稈長は同等かやや短稈で玄米品質・食味も同等です。

コシヒカリ関東HD1号はコシヒカリの同質遺伝子系統として西南暖地の早期栽培地帯での普及が期待されます。

この系統は農業生物資源研究所と共同で開発したものです。



コシヒカリ関東HD1号染色体地図
注) 白はコシヒカリ、黒はKasalath型を示す



コシヒカリ関東HD1号とコシヒカリ(作物研)

農研機構 作物研究所 稲研究領域

問い合わせ先:企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp http://nics.naro.affrc.go.jp/